

# 式典 語録

市長、議長、来賓…。  
式典のあいさつとして  
それぞれが合併への思い、  
新市の展望を語りました。

今、明治以来のときを超え、  
再び手を携え、  
先人から引き継いだ財産をつないでいけることを、  
誇りに思っているところがあります。

自然豊かな安曇野を  
共有の財産として活用していくことが、  
当市の発展に大きく寄与するものと  
確信しています。

合併は最終目標でなく、  
新しい地域づくりの  
新たな出発点であります。

(平林市長・右記3つ)



平林伊三郎 市長

「安曇野市が「安曇野」という  
全国ブランドにふさわしい  
地域経営の視点を持って、  
新しいまちづくりには  
取り組んでいただけるよう  
応援しています。」  
(総務大臣)

春の訪れとともに、どこかで水が流れ出し、  
五つの清流となって、周辺住民に愛され、  
合併後の夢や希望を乗せて、ひとつの川に合流し、  
穏やかに、豊かに、滔々と流れております。

(水谷議長)



水谷嘉明 議長

合併によりそれぞれ持ち寄った、  
伝統、文化を愛する思いは  
安曇野市となっても  
変わることはない  
豊かな財産だと思います。

(松本広域連合代表 生坂村長)

先頭をきって、  
新しい自治の形を示していただけられることを  
大いに期待しています。

(長野県市長会代表 千曲市長)

今や「安曇野」は日本の原心象風景、  
日本のふるさとの代表としての言葉になっていると思います。

(長野県副知事)

どうか、この安曇野が  
県下において  
立派な市として  
住民の皆さまが  
合併して良かった  
住みたい  
という市になることを  
私どもは念願しています。

(受賞者代表 旧堀金村長)



受賞者代表 山口文彦 旧堀金村長

## 私の 思い

次世代を担う  
市内5地域の小中学生が  
新市への思いを  
作文で発表してくれました。

(本紙では内容を一部省略してあります)

昨年10月に豊科、穂高、三郷、  
堀金、明科の5町村が一つになり、  
安曇野市が誕生しました。これか  
らはこの旧5町村が協力し、お互  
いに高め合っていくことが必要で  
す。そのために私たちはどうして  
いけば良いのか、目標をつくるこ  
とが重要だと思います。

私が考えていることは、安曇野  
市に広がっている豊かな自然を守  
ることです。安曇野市は高くそび  
える北アルプスの山々や犀川、田  
園風景など自然が豊かで素晴らしい  
ところなんです。特に水田は、私た  
ちの生活にとって、とても大切な  
ものです。私たちが毎日おいしい  
お米を食べられるのは水田がある  
おかげです。水田がこんなにも豊  
かなのは、安曇野市内全体を通っ

知恵と未来の  
安曇野に託し  
た願い、思い  
を私たちが受  
け取らなけれ  
ばならないと  
思います。

この豊かな  
自然を守るた  
めに、私たち  
小中学生は自  
然への思いや  
情報、メッセ  
ージなどをもっと発信していくな  
とができそうです。安曇野市が誕  
生した今、この名にふさわしい自  
然、豊かな自然を守るための気持  
ちを持ち続け、行動していきたい  
です。



## 「安曇野市への思い・願い・夢」

豊科南中学校 田中佳織さん